

高隈ダム

高隈ダムは、昭和38年度から昭和41年度にかけて国営笠野原農業水利事業により一級河川肝属川水系串良川の鹿児島県鹿屋市上高隈町地先に、農林水産省が農業用ダムとして建設した重力式コンクリートダム。



【ダムの諸元】

位 置	左岸：鹿児島県鹿屋市上高隈町2035番地先 右岸：鹿児島県鹿屋市上高隈町2659番地先		
河 川 名	一級河川肝属川水系串良川		
ダム型式	重力式コンクリートダム	目 的	農業用水
堤 高	47.0 m	総貯水量	13,930 千 m^3
堤 長	136.0 m	有効貯水量	11,630 千 m^3
堤 頂 幅	4.5 m	流域面積	38.4 km^2
堤 体 積	67 千 m^3	満水面積	1.04 km^2

警 報 設 備

高隈ダム警報局及び 警報用掲示板位置図



警 報 局



ダムの放流による川の増水をあらかじめ知らせるための施設です。ダム下流の河川沿いに5箇所の放流警報局を設置しています。

警 報 用 掲 示 板



河川利用者にダムからの放流警報を知らせるための警報看板で、ダム下流の河川沿いに6箇所設置しています。

警 報 車



ダムからの放流による増水を、川を利用している人たちへ警報車により避難の呼びかけを行います。